

有機農業を農業の主流に



会社案内

土づくりと味にこだわる農業者集団

株式会社 マルタ

<http://www.maruta-mogura.co.jp>

有機農業を農業の主流に

化学肥料や農薬の多投によって支えられた戦後60余年の日本農業は、多方面で行き詰まりを見せています。私たちは土壌微生物の生態や働きを知り、当時の農業に危機感を持ち、同志を集め1975年に有限会社、2年後に株式化して以来約30年、株式会社マルタ有機農業生産組合として活動を続け、2005年、社名を現在の株式会社マルタに変更しました。

私たちは一貫して土づくりと味にこだわり、有機農業を一つの目標として持続可能な農業の再構築に実践を通して寄与したいと願ってきました。幸いその仲間も全国に広がり、取り組みの方向の正しさと必要性を証明してくれています。

同じ理念を共有した個性豊かな仲間たちが、色々な作物で挑戦し続けてきた有機栽培やそれに準ずる持続可能な特別栽培などの膨大な実践ノウハウの集積が私たちグループの宝です。それらを基に、高品質で食べる人たちの満足と健康に役立つ農産物の周年供給体制を目指すとともに、堆肥化技術を活用した生ゴミリサイクル支援など社会との結びつきも強まりつつあります。引き続き農業の自立とともに、生命・健康維持産業の一翼を担い、農業や社会の健全化の先頭に立てればと考えています。賛同する生産者の参加はもちろんお取引先様、あるいは消費者をはじめ関係する皆様のご支援とご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。





株式会社マルタの特徴



代表取締役会長

鶴田 志郎



代表取締役社長

佐伯 昌彦

1. 私たちは自主的な属人組織です。

1975年、アメリカのサンキストの日本版を目指して九州の柑橘生産者を中心に属人組織として発足しました。趣旨に賛同する生産者であれば、全国どこでも、団体あるいは個人でも参加できる組織です。形態は株式会社ですが、株主は全て生産者（出荷産地）で構成されています。現在、北は北海道から南は沖縄まで日本全国約100グループ1,000名程の生産者がおり、栽培品目も果実から野菜、米、お茶、熱帯フルーツなど農産物全般に広がっています。

2. 私たちは共通の理念を持った生産法人やプロ農家の集団です。

有機農業を目指すという共通の理念のもと、土壌微生物の生態や動きを科学的に学び、その応用と実践を通して教科書にはない多くの実績をノウハウとして集積・共有しています。またそれらを活用して土の再生・農業の再構築や社会的地位の向上を目指し、各地域でその先頭に立とうというリーダー集団でもあります。他団体に比べ比較的若い経営者が多く、専業で大規模な生産法人や農家が多いのも特徴で、各地で後継者も育ちつつあります。

3. 私たちは「堆肥の質」と「味」にこだわっています。

有機農業や持続可能な農業は土づくりから始まり、成否は「堆肥の質」にかかっていると考えます。私たちは試行錯誤を経て1978年から独自に完熟醗酵させた「肥料」兼「堆肥」の「モグラ堆肥」を開発しました。静岡に堆肥センターを作り、改良を重ねグループの基幹資材として活用しています。また、有機栽培や農薬を減らすということだけでなく、いかに収量や品質を落とさずに味を良くするかにこだわっています。

4. 私たちは生産や流通履歴の開示に積極的に取り組んでいます。

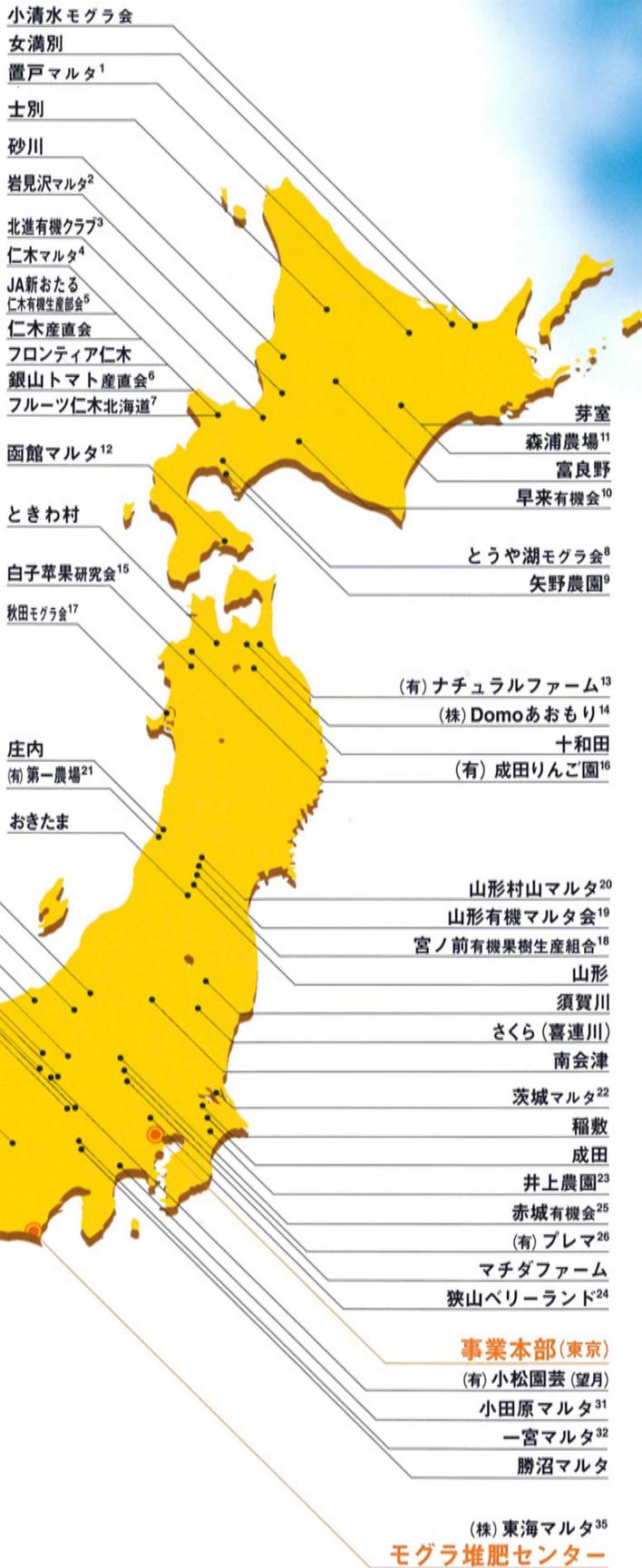
有機JASや生産情報公表JASへの対応など、生産管理や確認・適正表示、トレーサビリティ体制の確立に力を入れています。出荷する生産者の圃場と作物、資材の使用履歴等を正確なデータとして収集し、専門部署の現地確認等のチェックを経た上で、利用者の必要に応じて開示できるよう整備を進めています。

5. 私たちはGAP等生産工程管理に積極的に取り組み、安全を担保する仕組みづくりを目指します。

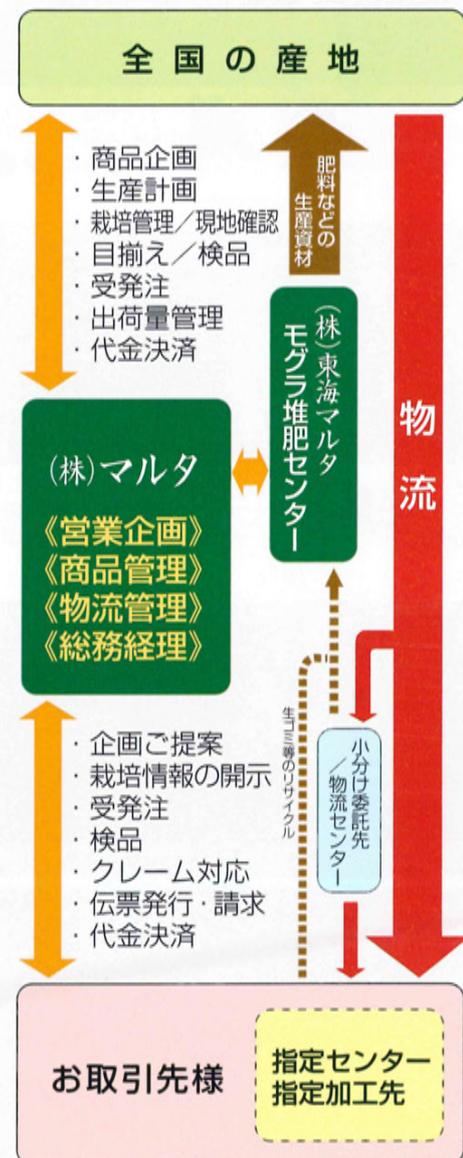
各産地食品安全の危害リスクを最小限に抑える取り組みとしてGAPを取り入れています。また生産工程管理という意識を醸成させ農場内管理を標準化し、安全品質だけでなく経営改善のツールとしても活用しております。

6. 私たちは全国ネットワークを活かし旬の味を周年供給できます。

北海道から沖縄までのこだわり生産者のネットワークが完成しました。同じ理念を持ち、トレーサビリティ体制を確立し、味を重視した農産物のネットワーク供給体制。これが私たちの自慢です。



(株)マルタ(事業本部)の役割



全国マルタ産地マップ

共通の理念を持ったプロ集団のネットワーク。
北は北海道から南は沖縄まで全国各地で
切磋琢磨しあう生産者たちが自慢です。





① 産地名
② 事務所所在地 (12.1月 現在)
③ 特産物

北海道



① 仁木マルタ
② 北海道余市郡仁木町
③ さくらんぼ、プルーンなど



① 北進有機クラブ
② 北海道札幌市 (道内各地)
③ ジャがいも、玉ねぎなど



① 岩見沢マルタ
② 北海道岩見沢市
③ 玉ねぎなど



① 置戸マルタ
② 北海道常呂郡置戸町
③ 玉ねぎ、人参、じゃがいもなど



① とうや湖モグラ会
② 北海道虻田郡洞爺湖町
③ セルリー、ミニトマトなど



① フルーツ仁木北海道
② 北海道余市郡仁木町
③ さくらんぼ、プルーンなど



① 銀山トマト産直会
② 北海道余市郡仁木町
③ ミニトマトなど



① JA新おたる仁木有機生産部会
② 北海道余市郡仁木町
③ トマト、ミニトマトなど



① 函館マルタ
② 北海道函館市
③ ジャがいも、南瓜など



① 森浦農場
② 北海道河西郡芽室町
③ ジャがいも



① 早来有機會
② 北海道勇払郡安平町
③ ほうれん草、アスパラガスなど



① 矢野農園
② 北海道伊達市
③ ジャがいも、玉ねぎなど



青森県



① (有) 成田りんご園
② 青森県北津軽郡板柳町
③ りんご



① 白子苹果研究会
② 青森県南津軽郡藤崎町
③ りんご



① (株) Domoあおもり
② 青森県上北郡東北町
③ ごぼう、長いもなど



① (有) ナチュラルファーム
② 青森県上北郡おいらせ町
③ 人参、大根など



山形県

秋田県



- ① 山形村山マルタ
- ② 山形県村山市
- ③ 西瓜など



埼玉県



- ① 狭山ベリーランド
- ② 埼玉県狭山市
- ③ ブルーベリー、キウイなど



- ① 山形有機マルタ会
- ② 山形県天童市
- ③ さくらんぼ、洋梨など



千葉県



- ① 井上農園
- ② 千葉県山武郡芝山町
- ③ 西瓜など



長野県



- ① 松川有機農業研究会
- ② 長野県下伊那郡松川町
- ③ りんご、梨、洋梨など



山梨県



- ① 一宮マルタ
- ② 山梨県笛吹市一宮町
- ③ 桃、ぶどうなど



- ① 上田マルタ
- ② 長野県上田市
- ③ ぶどう、りんご、花など



神奈川県



- ① 小田原マルタ
- ② 神奈川県小田原市
- ③ 柑橘類、キウイフルーツ、ブルーベリー



- ① 宮ノ前有機果樹生産組合
- ② 山形県東根市
- ③ さくらんぼ、洋梨など



茨城県



- ① 茨城マルタ
- ② 茨城県行方市
- ③ 野菜類



- ① 秋田モグラ会
- ② 秋田県南秋田郡大湯村
- ③ 米



- ① (有) 第一農場
- ② 山形県東田川郡三川町
- ③ 野菜類、アンデスメロンなど



群馬県



- ① (有) プレマ
- ② 群馬県前橋市
- ③ 小松菜



- ① 赤城有機会
- ② 群馬県利根郡昭和村
- ③ レタス、白菜など



- ① 長野川上モグラ会
- ② 長野県南佐久郡川上村
- ③ ほうれん草



- ① (有) ハケ岳ナチュラルファーム
- ② 長野県南佐久郡川上村
- ③ レタス、白菜、葉菜類



和歌山県



36

- ① 和歌山有機會
- ② 和歌山県紀の川市
- ③ 柑橘類、玉ねぎ、柿など



静岡県



35

- ① (株) 東海マルタ
- ② 静岡県御前崎市
- ③ お茶、ミニトマトなど



石川県



34

- ① (株) HARUSA
- ② 石川県金沢市
- ③ ジャがいも、白ねぎなど



新潟県



33

- ① 八色マルタ
- ② 新潟県南魚沼市
- ③ 西瓜、人参、米など



愛媛県



40

- ① 御荘マルタ
- ② 愛媛県南宇和郡愛南町
- ③ 柑橘類 (河内晩柑など)



39

- ① フルーツバスケット
- ② 愛媛県松山市
- ③ 柑橘類 (伊予柑など)



徳島県



38

- ① 久次米農園
- ② 徳島県板野郡藍住町
- ③ にんじん



兵庫県



37

- ① (有) 新家青果
- ② 兵庫県洲本市
- ③ 玉ねぎなど



佐賀県



44

- ① 佐賀白石マルタ
- ② 佐賀県杵島郡白石町
- ③ 玉ねぎ、レンコン、アスパラガスなど



大分県



43

- ① 杵築マルタ
- ② 大分県速見郡日出町
- ③ 柑橘類 (ハウスみかんなど)



福岡県



42

- ① 福南マルタ
- ② 福岡県八女郡立花町
- ③ 柑橘類 (温州みかんなど)



長崎県



41

- ① 愛西グループ
- ② 愛媛県八幡浜市
- ③ 柑橘類 (みかんなど)



48

- ① (株) 日野江
- ② 長崎県南島原市北有馬町
- ③ 柑橘類、根菜類、いちごなど



47

- ① (株) 西九州マルタ柑橘生産組合
- ② 長崎県南島原市深江町
- ③ 柑橘類、根菜類など



46

- ① 雲仙マルタ
- ② 長崎県雲仙市小浜町
- ③ トマト、ジャがいもなど



45

- ① 国見マルタ
- ② 長崎県雲仙市国見町
- ③ いちご、メロン、にがうりなど



熊本県



52

- ① 益城マルタ
- ② 熊本県上益城郡益城町
- ③ 人参、ゴボウ、里芋など



51

- ① 肥後有明会
- ② 熊本県熊本市
- ③ トマト、メロン



50

- ① 沖新マルタ
- ② 熊本県熊本市沖新町
- ③ トマト



49

- ① 火の国モグラ会
- ② 熊本県玉名郡玉東町
- ③ 柑橘類 (温州みかんなど)



56

- ① 河浦マルタ
- ② 熊本県天草市河浦町
- ③ 柑橘類 (河内晩柑など)



55

- ① みすみモグラ会
- ② 熊本県宇城市三角町
- ③ 柑橘類 (温州みかんなど)



54

- ① 益城フルーツマルタ
- ② 熊本県上益城郡益城町
- ③ キウイフルーツ、ぶどう



53

- ① 上益城マルタ
- ② 熊本県上益城郡益城町
- ③ 根菜類など



宮崎県



60

- ① (株) ITファーム宮崎
- ② 宮崎県宮崎市
- ③ 大葉・トウモロコシなど



59

- ① 芦北モグラ会
- ② 熊本県葦北郡芦北町
- ③ 柑橘類 (不知火・はるみなど)



58

- ① 田浦マルタ
- ② 熊本県葦北郡芦北町田浦
- ③ 柑橘類 (甘夏、レモンなど)



57

- ① 八代マルタ
- ② 熊本県八代市
- ③ トマト、ミディトマト



沖縄県



64

- ① 石垣島SUNファーム
- ② 沖縄県石垣市
- ③ バイナップル・マンゴー



63

- ① 長島バレイショ会
- ② 鹿児島県出水郡長島町
- ③ ジャがいも



62

- ① 鷹巣モグラ会
- ② 鹿児島県出水郡長島町
- ③ 柑橘類 (不知火など)



61

- ① (株) サンフレッシュ食品
- ② 鹿児島県出水市
- ③ 柑橘類、根菜類など



鹿児島県

私たちが目指すもの

私たちが目指すのは広い意味での有機農業です。土づくりと味にこだわり、環境保全に配慮した持続可能な農業を目指しています。



実践項目

1. 気候風土を最大限に活かし適地適作を実施する
2. 観察力を高め作物の生理・生態的特性を熟知するよう努める
3. 高品質で美味しい農産物を持続的に生産するための土づくりを基本とする
4. 環境や安全性に配慮し消費者が安心して食べられる作物づくりに努力する
5. GAP手法等を実践することで安全を担保する仕組みづくりに努力する

土づくりの基本的考え方

土壌診断を参考に物理的、化学的、特に生物的に良好な土壌バランスを保つために努力する

1. 作物生育の観察、診断の実施と適切な対応
2. 良質な堆肥の投入および緑肥等の活用
3. 土壌微生物の生態や働きを活用した化学肥料、化学合成農薬の削減や不使用へのチャレンジ

有機農業への確かなプロセスの用意

1. 全国の生産者の長年の経験と知恵の提供
2. モグラ堆肥など有機農業実践に必要な生産資材および情報の提供
3. こだわって生産された作品の多様な販売チャンネルを活用した販路の確保



有機農業が成功するかどうかは 「堆肥の品質」で決まる

…全国の仲間たちが35年余の実践を通して産み出した結論です。

有機農業の成否は投入する有機醗酵肥料および堆肥の品質で決まると考えます。土壌が健全になれば有用な微生物が増えます。微生物の働きは作物の味を良くするだけでなく、病害虫の発生を減少させ作物の栄養分を豊富にし、健全な作物を持続的に生産することを可能にします。

私たちは土の中の微生物を増やしながらか作物を栽培し続けるために、独自の有機醗酵肥料である「モグラ堆肥」を開発し、全国で色々な作物に使用しています。

【モグラ堆肥】とは？…

有機農業をより早く確実に実現する理想的な有機醗酵肥料です。

基本的な特徴

- ・「堆肥」という名前ですが有機醗酵「肥料」です。腐植分だけでなく肥料性も兼ね備えており、モグラ堆肥だけで十分な収量が確保できます。
- ・微生物性・肥料性・土壌改良性のバランスがとれ、毎回安定した肥効と連用による相乗効果が期待できます。
- ・連用によって有機農業の特徴—①味が良くなる②病害虫に強くなる③作物の栄養価が高まる④日持ちがよくなる⑤増収が期待できる—が同時並行的に実現できると考えます。
- ・有機JAS規格適合資材です。

原料・製造について

菜種油粕、海藻粉、米糠、粘土鉱物、パイン粕などを混ぜ合わせ独自の醗酵菌とともに醗酵させます。これらを基本堆肥として全てのモグラ堆肥は作られます。生産量の大半を占めるモグラ堆肥A(赤袋)はこの基本堆肥に魚粕、フェザーミール、グアノ、カニガラなどを混合し再度醗酵させて仕上げます。これら多種多様な原料を使い醗酵方法を工夫することで、微生物性はもちろん、肥料性を重視し、また成分ロスの非常に少ない製造を行っています。



【モグラ堆肥A:赤袋】



モグラ堆肥センターを設立

私たちのモグラ堆肥は静岡県御前崎市で生産しています。魚粕粉末など良質の原料が入手可能で、独自の製法で醗酵させた堆肥を全国に広く普及させることを目的に1978年に設立しました。私たちの『土づくり』のノウハウが集積されており、基本的な堆肥からそれぞれの生産者の用途に合わせたオリジナルのものまで全国会員向けのモグラ堆肥の生産を行っています。



微生物の多い土にはミミズが多い。
ミミズが多い土にはモグラがいます。
微生物が多い土は肥えた良い土の証拠です。
そのような土を作ろうという私達の
シンボルマークがモグラなのです。

事業本部

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-5-12 借楽ビル(新末広)3F

Tel: 03-5818-6961 Fax: 03-5818-6966

九州事業所

〒862-0956 熊本県熊本市水前寺公園5-41 パークサイド水前寺302

Tel: 096-387-5101 Fax: 096-387-5106

モグラ堆肥センター

〒437-1614 静岡県御前崎市塩原新田6-1

Tel: 0537-86-7575 Fax: 0537-86-7446

会社概要

名 称	株式会社マルタ
代 表 者	(会長) 鶴田志郎 (社長) 佐伯昌彦
設 立	1975年1月11日(有限会社) 1977年2月22日(株式会社)
資 本 金	1億7,700万円(株主は生産者もしくは産地の代表で構成)
年 商	70億3,615万円(2014年3月期)
生産者数	約1,500名(約220グループ)

会社沿革

- 1975 マルタ柑橘生産組合正式発足
- 1976 東京事業所開設
- 1978 東海マルタ堆肥センター設立 モグラ堆肥製造開始
マルタ有機農業生産組合の名称を野菜に使用開始
- 1979 甘夏 大谷洞窟貯蔵始まる(～1996年)
- 1981 組合自主制作映画「根の国」完成
- 1985 九州熊本にて10周年記念大会
- 1986 九州事業所開設
- 1989 マルタ有機農業生産組合に名称統一
- 1994 東京及び九州事業所移転
- 1995 東京代々木にて20周年記念大会
- 1998 日本有機農業生産団体中央会発足
- 2000 21世紀のマルタ有機農業生産組合を考える新プロジェクト発足
(組織の自立と若返り・周年供給体制の拡充・生産履歴システムの確立)
- 2004 生産者全員の出資で増資(8月 1億5800万円)
- 2005 東京品川にて30周年記念大会
株式会社マルタに名称を変更
生産者全員の出資で増資(6月 1億7700万円)
鶴田会長、佐伯社長それぞれ昇任(6月)
- 2006 第一次 中期三ヶ年計画発表(3月)
マルタファンクラブ発足(4月)
- 2009 売上高40億円達成(第33期) 第二次中期三ヶ年計画発表(3月)
- 2010 マルタ発足 35周年
- 2012 売上高50億円達成(第36期) 第三次中期三ヶ年計画発表(3月)
- 2013 東京事業本部移転(11月)
- 2014 売上高70億円達成(第38期) 40周年記念プロジェクト始動